



こんなことあったよ! のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和4年6月18日(土)
春の合同剪定会に参加しました 編

昨年(令和3年6月19日活動レポート参照)に続き、能代バイパス黒松友の会*の春の剪定会初日に木高研の安藤大将先生と参加しました。半月ほど前から、毎日天気予報を気にしながら過ごしていましたが、幸いにも好天に恵まれ、夏を思わせる日差しの日となりました。

能代にいないとできない体験だ!と安藤先生は、昨年秋の剪定会にも参加されましたが、半年余りの間ののしろ白神ネットワーク(以下、NW)の松の成長ぶりにびっくり。昨年春の剪定会で「先生、これは刈り過ぎ。虎刈りだよ(笑)」とご指摘をいただいて、その成長ぶりが気になっていただけに、徒長枝の長さや茂り具合には、私も驚きました。

植物は、生命の危機を感じると花をたくさん咲かせたりすることがありますが、NWの松も「この二人に刈られると、このままでは危ない!」と感じ取ったのかもしれません。

今回は良く伸び、かつ茂った枝に二人とも悪戦苦闘。いつもご指導下さるお隣の松のオーナー、佐藤さんもいらっやらず、昨年以上に、今後の黒松の成長が心配な仕上がりになりました。ドロ縄の予習に効果がないこともまたも痛感。

剪定会後、松の前を車で通過する際には、変色していないか、枯死していないか見ていますが、今のところ大丈夫なようです。この秋には、次の春に向けて手直しができるくらい、黒松が無事に成長してくれることを願うばかりです。

暑い中での作業、皆さまお疲れ様でした。また、ご準備・サポート下さいました事務局の皆さま、お世話になりました。有難うございました。

文: 渡辺 千明

*能代バイパス黒松友の会紹介 URL:

https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/douro/noshirokokudou_douro/vsp/kuromatu/main.html



厳しい剪定と冬を乗り越え、随分と枝が伸びています(上)。周囲の松の枝も長いようです(下)。



昨年(左)と比べても違いが分かります。徒長枝の長いものは20cmはあったでしょうか(右)。



この日の成果は土のう袋 3+1/3 となりました。強剪定が多かったのかどうか。今後の黒松の成長を見守りたいと思います。